

氏名	若林チヒロ	部署	健康開発学科	職名	教授
研究分野	生活科学、健康社会学				
学位	修士（家政学）				
学歴	1988年お茶の水女子大学卒業、1991年お茶の水女子大学院修士課程修了				
経歴	1999年埼玉県立大学保健医療福祉学部社会福祉学科助手、2008年健康開発学科健康行動科学専攻講師、2011年同准教授・2017年同教授				
所属学会（役職）	日本公衆衛生学会、日本保健医療社会学会、日本エイズ学会（評議員）、日本疫学会、日本社会福祉学会（査読委員）、日本アフリカ学会				

【2024年度実績】

1. 研究業績							
(1) 著作							
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数		著者、編者名	発行等年月
1	公衆衛生マニュアル2024：第13章健康づくり	共著	あり	南山堂		若林チヒロ著、中村好一・佐伯圭吾編	2025.3
2	公衆衛生マニュアル2024：資料	共著	あり	南山堂		若林チヒロ著、中村好一・佐伯圭吾編	2025.3
3	社会・環境と健康：第20章国際保健	共著	あり	医歯薬出版		若林チヒロ著、尾島俊之・大木いずみ編	2025.2
(2) 論文							
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	Investigating the Moderating Effect of HIV Status Disclosure on the Link Between Discrimination Experience and Psychological Distress among People Living with HIV in Japan Infected through Sexual Contact	共著	あり	2.7 (2022)	the International Journal of Behavioral Medicine.	Takeshi Miwa1,2, <u>Chihiro Wakabayashi</u> 1, Kanna Hayashi3, Kazuko Ikeda4, Junko Tanuma4, Yoshiyuki Yokomaku5 and Yuzuru Ikushima2	2024.6
(3) 学会発表							
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市		発表者（発表者は○印）		発表等年月
1	在日フィリピン人女性の乳がん検診受診行動ーフィリピン人へのインタビュー調査からー	共著	第83回日本公衆衛生学会総会.札幌		佐藤史歩、本間三恵子、大木いずみ、 <u>若林チヒロ</u> （P16-1）		2024.10
2	日本国内在住のHIV陽性者におけるアルコール依存の実態と心理社会的要因	共著	第83回日本公衆衛生学会総会.札幌		戸ヶ里泰典、井上洋士、高久陽介、阿部桜子、細川陸也、塩野徳史、関由起子、米倉佑貴、山内麻江、 <u>若林チヒロ</u> 、大木幸子（P08-60）		2024.10
3	HIV陽性者におけるレクリエショナルドラッグの使用とソーシャルサポート・ストレス対処力との関連：Futures Japan 第3回調査より	共著	第38回日本エイズ学会学術集会.東京		戸ヶ里泰典、井上洋士、高久陽介、大島岳、阿部桜子、細川陸也、塩野徳史、米倉佑貴、片倉直子、山内麻江、井上智史、関由起子、 <u>若林チヒロ</u> 、大木幸子（P-S13-3）		2024.11
(4) その他							
	名称	単・共	発表場所等		発表者（発表者は○印）		発表等年月
1	該当なし						
2. 競争的資金等の研究							
	競争的資金等の名称	研究名			研究代表者・研究分担者の別		研究期間
1	該当なし						

3. 教育業績				
(1) 講義				
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	健康行動科学入門Ⅰ		1	1年生対象の専攻専門必修科目、康行動科学の専門領域と自身の専門紹介
2	健康情報リテラシー 1	○	15	1年生対象の専攻専門必修科目。情報の収集と提供の基礎
3	健康行動科学入門Ⅱ	○	5	2年生対象の専攻専門必修科目。卒後の社会活動選択の参考になる情報提供に務めた。
4	健康科学 3（健康社会論）	○	15	2年生対象の専攻専門必修科目。社会的健康、健康と社会とのかかわりについて。
5	多文化社会と生活	○	15	3年生対象の専攻専門選択科目。学生の多様な意見を交換できるようにした。
6	リプロダクティブライツと看護		1	看護学科の専門選択科目にてHIV/AIDSをテーマに講義。
7	健康福祉社会調査論	○	15	大学院（博士前期課程）の専門選択科目。履修者の研究テーマに沿って講義。
(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	専門ゼミⅠ		15	3年生対象の専攻専門必修科目。ゼミ、ディスカッション
2	専門ゼミⅡ		15	3年生対象の専攻専門必修科目。ゼミ、ディスカッション
3	卒業研究		30	4年生対象の専攻専門必修科目。卒研指導5名
4	健康福祉科学演習（健康ライフスタイル）	○	15	大学院（博士前期課程）の専門選択科目。履修者の研究テーマに沿って講義。今年度は直接履修なし。
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	IPW実習		学外	科目担当者（健康行動科学専攻担当）
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2024.4～2025.3	主指導 5名	副指導 0名
2	修士論文	2022.4～2025.3	主指導（指導教員） 1名	副指導（指導補助教員） 0名
(5) その他				
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	該当なし			
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	該当なし			
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称		任期
1	独立行政法人日本学術振興会	特別研究員等審査会専門委員、卓越研究員候補者選考委員会書面審査及び国際事業委員会書面審査員・書面評価員		2023/7-2024/6
2	さいたま市	国民健康保険運営協議会委員		2022/4-
3	日本家族計画協会倫理審査委員会	倫理委員会（社会）		2012ー
4	日本エイズ学会	評議員		2023-
5	日本社会福祉学会	査読委員		2023-
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容		年月
1	該当なし			

(4) その他			
	項目	相手方等	内容
1	地域貢献活動	はばたき福祉事業団	薬害HIV被害者遺族会
2	地域貢献活動	A.D.Japan	在日外国人関連の支援
5. 学内運営			
	項目	内容	
1	全学的委員会及びセンター業務等	国際交流委員	
2	大学広報活動	オープンキャンパス等	
3	大学広報活動	県内高校への新専攻説明、オープンキャンパス、後援会	
4	大学広報活動	SPU卒業生向け広報誌	
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の取得			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
該当なし			